



薬学部  
同窓会長  
桂 正俊

## 薬学部

薬学部同窓会は6,000名を超える会員が全国各地で活躍しております。全国17支部(道内7、道外10)で活動を行い、医療薬学セミナーと同時に支部総会や懇親会を開催し、その地域での薬業や医療に関する情報交換を行っているところです。会員数の増加により、道内支部の細分化と道外の卒業生が減少していることから本州支部の統合やブロック化も含めて現在検討しております。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、各セミナーを含めさまざまな行事やイベントが中止や延期となり、各支部での活動も縮小して行っている状況です。しかし、コロナ禍の中でもwebを利用したりリモート研修等を薬剤師支援センターの協力で、

〈創立年:1979年 会員数:約6,180名〉

徐々に開催することができております。

コロナ禍以前は、卒業生の生涯教育として、医療薬学セミナーや将来ビジョン講座など卒業研修を企画するとともに「卒業生・在学生合同懇談会」を開催しており、我々同窓会としても、入学時から学生に対しての支援活動を通して大学に寄与できるよう努力してまいりましたが、在学生も同窓会準会員としてしますので、在学生に対しての更なる支援を今後も検討しております。

- <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~phalumni/>
- [yaku-dousoukai@hoku-iryu-u.ac.jp](mailto:yaku-dousoukai@hoku-iryu-u.ac.jp)



歯学部  
同窓会長  
袁 隆宏

## 歯学部

平素は北海道医療大学歯学部同窓会の活動に際し、深いご理解と多大なるご協力を頂き誠にありがとうございます。

歯学部では、昨年4月に44期生が入学され、本年3月には39期生が社会に巣立ってくれました。後輩たちを育ててくれた学内の教員の皆様に深く感謝し心からお礼を申し上げます。

未だ収束の目処が立っていない新型コロナウイルス感染拡大の中で、ディスタンスの確保とコミュニケーションの充実、この二つを両立させながら学生生活を送られていることに深く敬意を表します。我々はこの厳しいコロナの現況をコントロールすることはできません。しかし、自分自身をコントロールすることができます。このことにフォーカスを当て、しっかりとしたい運い自分を創ることを日々の生活で学び、気持ちいい機会だと捉えています。

この2年間、我々の同窓会活動も多くの変化を余儀なくされました。1年生サマースクールの応援、1年生応援講義、6年生卒業試験、国家試験の応援、同窓会誌の制作発行、同

〈創立年:1984年 会員数:約3,258名〉

窓会賞授与などを多くの同窓生の協力の中で継続することができました。また、コロナ対策学生応援プロジェクトいわゆるコロナ基金の応援やリモートによる学術講演会開催などの新たな活動も始まりました。再来年には本学創立50年そして本会設立40年を迎えます。この節目の年に向かって、夢と希望を持って皆様に本会設立の目的に則った活動を充実させて参りたいと存じます。

最後に医療大ワンチームによるワクチン接種活動に感動致しました。短期間で準備されしっかり運営下さいました全ての皆様から感謝しお礼を申し上げます。

- <http://www.hoku-iryu-u.com/>
- [dousoukai-honbu@clock.ocn.ne.jp](mailto:dousoukai-honbu@clock.ocn.ne.jp)
- 事務局 札幌市北区北6条西6丁目2-11 第3山崎ビル4F  
TEL 011-299-9069 FAX 011-299-9609



看護学部  
同窓会長  
川村 武昭

## 看護福祉学部／看護学科・札幌医療福祉専門学校／看護学科

〈創立年:1997年 会員数:約2,600名〉

福慧会(看護学科同窓会)は1997年に創立し、今年で活動26年目となりました。日頃から御尽力をいただいている同窓生の皆様をはじめ、各学部学科の同窓会役員の皆様、そして大学関係者の皆様はこの場をお借りして深く御礼申し上げます。

さて、今年度の同窓会活動は昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により十分にできない状況が続いています。3回目のワクチン接種が始まり、経口治療薬の開発も進み、徐々にwithコロナの社会が到来しつつあると感じる一方、会員同士の繋がりがや交流することを目的とした本会の活動を安心して展開するにはもう少し時間が必要と感じています。それでも1年前の今日と比べると、世の中とともに私たちの行動は変化し、そして成長していることは間違いありません。

今後も福慧会としては、同窓生や在学生との繋がりが、ともに育ちあえる機会や関係性を構築していける環境の醸成を目指し、大学や他学部の同窓会と連携を図りつつ活動して参りたいと考えています。同窓生が安心して語り合える機会が増えることで、看護職として、また、本学の同窓生としての繋がりを再認識できることが本会の発展に繋がると考えております。活動の再稼働にはもう少し時間を必要とすることと思いますが、これからのどうぞよろしくお願ひいたします。また1年後、各々が繋がるさまざまな荒波を乗り越えその先で元気にお会いできることを楽しみにしております。

- <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~kango/>
- [kango@hoku-iryu-u.ac.jp](mailto:kango@hoku-iryu-u.ac.jp)



臨床福祉学科  
同窓会長  
小畑 友希

## 看護福祉学部／臨床福祉学科・札幌医療福祉専門学校／介護福祉学科

〈創立年:2000年 会員数:約2,100名〉

新型コロナウイルス感染症は、人や社会との繋がりをもって生活することが大切であることを明らかにしました。そして同窓会活動は、繋がりをつくり出すことに価値が生まれます。コロナ禍でもオンラインで実施した活動について報告します。

7月と9月に「病院ではたらく相談支援のしごと体験講座」が、中・高校生とその保護者を対象にweb開催されるにあたり、昨年度に引き続き当同窓会も企画・運営に携わりました。医療ソーシャルワーカーの職業理解を深めていただく機会になっております。

11月には、福祉・介護同窓会セミナーと総会をオンライン開催いたしました。セミナーは臨床福祉学科の奥田かおり先生に「自分の力を発揮できる職場づくり、弱さでつながる」と題し講演をいただきました。心理的に安全な環境にあるチームは離職率が低く、個性を活かやすく、結果的に成果を上げられやすくなるということです。弱さを語る、ありのまま

の自分自身でいられる組織は、スタッフも組織も成長するものであることを学びました。対話実践を取り入れることを考えている同窓生は、奥田先生が力になってくれますし、他の学科の先生方も常に私たち卒業生を見守ってくれています。総会は、道外からの出席者もあり、画面越しではありますが交流の場となりました。

コロナ禍で創意工夫しながら創り出している活動は、新たな同窓会の価値を生み出す可能性も秘めています。今後も母校の発展と卒業生の活躍を願ひ活動を推進して参りたいと思います。皆様のご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

- <https://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~fukudo/>
- [fukudo@hoku-iryu-u.ac.jp](mailto:fukudo@hoku-iryu-u.ac.jp)



臨床心理学科  
同窓会長  
上河邊 力

## 心理科学部／臨床心理学科

〈創立年:2006年 会員数:約590名〉

平素より同窓会活動への格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年度に引き続き、感染症の世界的な流行に伴い多大な影響を被られました会員の皆様方ならびにそのご家族の皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。

感染症の影響により、現在も対面で行われる同窓会の活動は実施できない状況が続いております。しかしながら、今年度は同窓会公式YouTubeチャンネルを開設したことにより、道内のみならず全国各地にお住まいの同窓会員の皆様方へ同窓会セミナーの様子をお届けすることが可能になりました。当日のライブ配信に加えて、録画された研修会の様子を後日視聴できる体制も整えたこともあり、今までにないほどに大勢の皆様方からお申し込みをいただきました。

従来の知識提供型のセミナーに加えて、全国各地で活躍する卒業生とのオンライン交流会という新しい試みもスタートしています。就職を目前に控えた学生さんだけではなく、入

学したばかりの1年生の学部生にもご参加いただくことができ、大変嬉しく思っています。学生の皆様方からは大変ご好評をいただいておりますので、今後も定期的な開催を目指していきたいと思っています。

もう1つの大きな挑戦は、同窓会の公式LINEアカウントを開設したことです。これにより、同窓生の皆様方は、お手持ちの電子機器で即座にしかも確実に同窓会についての情報を受け取ることができるようになりました。郵送費や印刷費がかからない分、今までよりもたくさんの情報を同窓生の皆様方へお届けすることができています。

このように、今年度は同窓会活動のIT化が大きく進んだ1年となりましたが、これからも、当同窓会へ変わらぬご支援を賜りますよう謹んでお願ひ申し上げます。

- <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~p.dousou/> ■ [shinri-dousoukai@hotmail.co.jp](mailto:shinri-dousoukai@hotmail.co.jp)



理学療法学科  
同窓会長  
武田 智洋

## リハビリテーション科学部／理学療法学科

〈創立年:2017年 会員数:約280名〉

平素より理学療法学科同窓会の活動にご理解ご協力をくささり、誠にありがとうございます。日頃から活動に対して積極的にご協力頂いている同窓会役員をはじめ、他学部同窓会の皆様、本学関係者の皆様には改めて御礼申し上げます。

本学に理学療法学科が開設されてから9年が経ち、今年には6期生が社会人デビューを果たしました。今年もまた「北海道医療大学」から「理学療法士」が誕生したことを嬉しく思っております。これまでの卒業生は北海道内のみならず、全国各地の医療機関や福祉施設等で活躍しています。6期生の皆さん、初めての仕事で慣れないことや多くの悩みが生じることがあるかと思ひます。そのような時は身近にいる卒業生に声をかけ、些細なことでも相談してみてください。きっと後輩である皆さんのことを優しく支援し、心強い存在となつてく

れるはずですよ。同窓会としても卒業後のサポート体制をさらに充実させていきたいと考えています。卒業教育の一環として、全国的に著名な先生や当学科教授を招いてのセミナー開催を企画しています。知識・経験が豊富な先生による講演や、学生時代を知る先生にだからこそできる相談など、「明日につながる」内容を求め、実践していきたいと思ひます。

引き続き後援会の皆様をはじめ、他学部同窓会の皆様に御指導を頂きながら、本学の発展、同窓生のさらなる活躍の一助となるべく活動を参りたいと思ひます。

- <http://iryoudaipt.web.fc2.com/> ■ [iryoudaipt@gmail.com](mailto:iryoudaipt@gmail.com)



作業療法学科  
同窓会長

田丸 仁啓

### リハビリテーション科学部／作業療法学科

〈創立年:2017年 会員数:約180名〉

作業療法学科同窓会は、開設より6年目を迎えます。設立初年度より顧問である作業療法学科近藤里美教授、他学部同窓会役員の皆様には多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

現在は約180名の同窓会会員で活動しており、今後も毎年30～40名とまだまだ少ない会員数の期間が続きます。少人数という特徴を活かして密に連携をとりながら、当同窓会が同窓生、在学教員、在学生のつながる場としてあり続け、発展していくことを願っております。

今年度もCOVID-19の流行により同窓会活動も大きく制限されることになりました。毎月開催しておりました役員会も感染対策の観点からリモート会議として継続し、費用の削減、時間的な参加のしやすさからメリットも多く感じることができ、今後の同窓会運営の一

助となりました。どうかこの状況をいち早く打開すべく、医療人として日々新しい情報を取り入れ行動していくことが非常に重要であると改めて考えさせられました。

来年度はCOVID-19の状況を吟味し、同窓生の皆様へ還元できるような同窓会セミナー等の開催も検討して参ります。

最後に北海道医療大学後援会の皆様、各同窓会役員の皆様のご理解、ご協力の下に当会の運営が成り立っていますことに深く御礼申し上げます。

■ <https://www.ot40-jp.webnode.jp/>  
■ [hokuriyodai.ot@gmail.com](mailto:hokuriyodai.ot@gmail.com)



言語聴覚療法学科  
同窓会長

石黒 恵美子

### 心理科学部／言語聴覚療法学科・ 札幌医療福祉専門学校／言語聴覚療法学科・言語聴覚療法専攻学科

〈創立年:1994年 会員数:約1,300名〉

当会は札幌医療福祉専門学校の言語聴覚療法学科の第1期卒業生により設立され、昨年春には新しく48名の卒業生をお迎えしました。講演会の企画・運営と年に2回の会報の発行を通し現役生・卒業生の皆様への情報提供を中心に活動してまいりましたが、昨年に続き今年度も新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、主な活動を休止し会計管理と会員データのメンテナンスを行っております。

また、他学部同窓会と合同でオンライン会議により準備を進めております「第15弾コロナ☆講演会～口から食べられる理想に向かって」は、昨年同様にweb会議システムを利用した開催となります。このADVANCEが皆様のお手元に届く頃には、無事に講演会が終了

し、来年度の開催についての話し合いが始まっていることと思います。来年度は状況が落ち着き、対面での開催も可能となり、多くの皆様にご参加いただけることを願っております。

最後に、この場をお借りし北海道医療大学後援会の皆様・内外の先生方のご理解・ご協力を賜り運営を行っておりますことに、深く御礼申し上げます。

今後感染症の状況に対応しながら同窓会活動を通じて皆様のお役に立てるよう、役員一同努力して参ります。

■ [st-kai@hoku-iryuo-u.ac.jp](mailto:st-kai@hoku-iryuo-u.ac.jp)

## 北海道医療大学同窓会支部等連絡先

### ■薬学部

支部名	支部長(期)
札幌支部	多田 正人(4)
道北支部	沼野 達行(10)
十勝支部	石原 敦(3)
道南支部	吉田 元(12)
釧根支部	羽田野 貴志(11)
オホーツク支部	森谷 俊憲(13)
日胆支部	寺口 元(6)
青森支部	三上 章(1)
栃木支部	豊住 暢臣(17)
茨城支部	青木 邦子(4)
北越支部	杉本 雅規(3) ※支部長代理
神奈川県支部	萩原 秀男(5)
東海支部	高尾 信彦(2)
関西支部	山口 和俊(9)
中四国支部	黒長 正明(9)
九州支部	山田 昌人(3)
沖縄支部	村田 成夫(4)

### ■歯学部

支部名	支部長(期)	連絡先
北海道支部連合会	佐藤 明理(4)	医療法人社団明雄会そのま歯科 ☎011-387-8811
青森県支部	佐藤 孝治(2)	佐藤歯科医院 ☎0172-36-0412
岩手県支部	高野 玄(18)	高野歯科クリニック ☎0197-23-2488
宮城県支部	郷家 道彦(10)	郷家第二歯科医院 ☎022-223-3306
秋田県支部	石川 承平(14)	いしかわ歯科・矯正歯科 ☎018-887-3988
山形県支部	芳賀 俊和(5)	芳賀歯科医院 ☎0238-84-8107
福島県支部	外島 昭夫(7)	ホワイト歯科医院 ☎024-875-3232
茨城県支部	秦 博文(2)	社会医療法人愛宣会ひたち医療センター歯科 ☎0294-37-0713
栃木県支部	亀田 智(4)	亀田歯科 ☎0282-55-5118
群馬県支部	※前支部長ご逝去のため、後任は現在未定	
埼玉県支部	青木 聡(7)	あおき歯科医院 ☎049-256-2220
千葉県支部	寺山 功(4)	葉山歯科医院 ☎0471-64-6480
東京都支部	蛭名 勝之(5)	エビナ歯科医院 ☎03-3200-4818

支部名	支部長(期)	連絡先
神奈川県支部	阿部 智彦(2)	阿部歯科医院 ☎045-953-7676
山梨県支部	安田 伸一(13)	やすだデンタルクリニック ☎055-243-8461
長野県支部	小池 文一(2)	小池歯科医院 ☎026-224-1482
新潟県支部	山下 克弥(9)	わかば歯科医院 ☎0258-83-1010
富山県支部	藤川 晃(5)	藤川歯科医院 ☎0764-83-2231
石川県支部	久保 伸一郎(2)	栗津歯科医院 ☎0761-44-4852
愛知県支部	木村 英雄(1)	こめの歯科医院 ☎052-451-1182
京都府支部	堀内 光一(10) ※支部長代理	堀内歯科医院 ☎0774-21-4016
近畿地区	瀧本 智朗(17)	とも歯科医院 ☎06-6654-6831
広島県支部	神原 滋(6)	明王台クリニック ☎084-952-2281
四国支部	谷本 良司(3)	医療法人谷本歯科医院 ☎0883-42-2069
九州支部	清川 宗克(3)	清川歯科・口腔外科クリニック ☎092-822-8805
沖縄県支部	玉城 均(1)	ながた歯科医院 ☎098-854-1182

### ■看護福祉学部

- ☎0133-23-1211
- 看護学科(内線:3641)担当:明野(実践基礎看護学講座)
  - 臨床福祉学科(内線:3708)担当:池森(介護福祉学講座)

### ■心理科学部・リハビリテーション科学部

- ☎0133-23-1211  
(学務部 心理科学課・リハビリテーション科学課)
- 臨床心理学科
  - 作業療法学科
  - 理学療法学科
  - 言語聴覚療法学科



歯科衛生士専門学校  
同窓会長

梶 美奈子

### 歯学部附属歯科衛生士専門学校

〈創立年:1991年 正会員数:約1,294名、準会員:19名〉

平素より、同窓会活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
2019年末から始まったコロナウイルスとの闘い(共存?)は、いったいいつまで続くのか、不安になりながらも私たち医療従事者は日々業務を行い、責任を全うしております。それができているのは、学生時代多くの学部学生たちと連携する力を学ばせていただいたことが基礎にあるからだと思います。

2021年度本会の活動は、他学部の皆様と協力して行う「コロナ☆講演会」から始まり、2020年度には断念した活動をようやく再開できるようになりました。初めての試みで何度も確認作業を行って開催したwebによる歯科衛生士セミナーには80名ほどが参加し、参加していただいた方々からは、「大変良かった」とお言葉をいただきました。その後、理事会や総会もwebで開催することができました。遠くは、スウェーデンからも参加して下さった

同窓生もいます。

卒業生の多くは臨床の場で、患者さん(人)に向き合っていることと思いますが、その向き合い方は直接でも間接でも(画面越し)可能なのではないのかしら?と考えるようになりました。オンライン診療もその一つです。オンライン診療はツールさえあればできるというものではなく、ルールに則り、環境整備なども重要な問題です。どのような状況であっても工夫すること、なんとかしようと思えること、仲間と相談すること、協力することで“道が開ける”可能性に気がついた2021年度でした。

■ <http://www.hoku-iryuo-u.ac.jp/~katakuri/>  
■ [okahashi@hoku-iryuo-u.ac.jp](mailto:okahashi@hoku-iryuo-u.ac.jp)

### 歯学部附属歯科衛生士専門学校同窓会支部連絡先

北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 ☎0133-23-1211(内線:3482)担当:大山・岡橋

卒業生を対象とした各セミナー・  
公開講座に関するお問い合わせ先

学術交流推進部  
地域連携課

☎0133-23-1129(直通) E-mail:nice@hoku-iryuo-u.ac.jp